



中央市民サービスセンター

センターズ だより

令和5年
3月

No.07

[発行] 中央地域づくり協議会



〈秋田市中央地域 千秋公園お堀の蓮〉



地域との繋がりを大切に

中央地域づくり協議会 会長 宇佐見 昭一

今年は全国的に10年に一度と言われるほどの大寒波の年明けとなりました。また、生活用品・食料品・燃料費・サービス関係などの値段も上がり、ますます厳しさが身にしみております。新型コロナウイルス感染の収束見込みが無い中で、5月からは季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げを決定したものの、特に若年層や子育て世代への感染の広がりが見られます。従来通り、

マスク・手洗をし、三密を極力避けて感染拡大防止に努めましょう。

さて、中央地域づくり協議会が発足して8年、その1年後にセンターズが開館し、皆様方のご協力のお陰でセンターズも順調に運営が出来る事に感謝申し上げます。

中央地区のまちづくりについての情報発信ツール「まちプラあきた中央」のホームページも4年目となり、中央10地区の歴史・食・名物・ハザードマップ情報・地区風土（祭・イベント）等の情報を日替わりで発信しております。このホームページもリニューアルを進めております。

今年で東日本大震災発生から12年となります。頻繁に起こる地震等の自然災害発生時には、日頃からの準備や心構えが必要です。非常持ち出し袋の中身の確認をするなど、自助・共助の精神を持ち備えておきましょう。「まちプラあきた中央」も、その手助けになれるようにしたいと思っております。

当協議会では皆様のご協力と知恵をお借りしながら、これからも地域との繋がりを大切にしていきたいと思っております。皆さまのもとに、地区担当のPR大使（学生）がお伺いする事があるかと思います。その時は是非ご協力と情報の提供をお願いします。

最後になりますが、今年うさぎ年です。うさぎは跳びはねることから、飛躍の象徴とされます。さらにたくさんの子を産むことから豊穰、子孫繁栄のシンボルにもなっております。

また、「うさぎと亀」の教訓にあるように油断をして思わぬ失敗を招く事なく、足元を見直して有意義な年にしていきましょう。

コロナ禍を経て思うこと

中央市民サービスセンター所長 協働・分権統括監 本間 弘生

私は、中学生の頃から楽器（チューバ）をはじめ、現在も社会人の吹奏楽団体に所属して活動しています。

毎週、どこかの市民サービスセンターの音楽室や地域文化ホールで練習をさせていただいており、昨年の11月には「センタースマつり」で演奏する機会も与えていただき、とても感謝しています。

私の所属する団体は、声さえ掛けていただければ、太平山の山中でも、秋田港の岸壁でも、どんな所へでも行って演奏する、節操のない団体です。

そのため、コロナ禍以前は、高齢者福祉施設等への慰問演奏を中心に、25回もの演奏機会があった年もありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大した2020年の春以降、こうした機会はほぼゼロになりました。

それだけでなく、楽器演奏にともなう飛沫感染の防止や換気の励行が叫ばれ、団員が練習に集まることはおろか、個人で練習することさえも憚られる時期が続きました。

このような状況は、市民サービスセンターで生涯学習活動やスポーツなどに取り組まれている方々も同様であったと思います。長引く休講や施設の利用制限などにより、また、学びの成果などを発表する機会がなくなったことにより、活動のモチベーションが続かなくなった方もいらしたのではないのでしょうか。

こうしたことを例に出すまでもなく、コロナ禍の約3年間で、私たちの生活から極端に減ったのは「体験」です。

誰かに会うことも、行きたかった場所に行くことも、様々なことから刺激を受けることも、すっかり減って（制限されて）しまいました。

そして、「体験」数の圧倒的な減少は、モチベーションの減少だけにとどまらず、心と身体の健康にも大きな影響を与えていることは明らかです。

ウィズ・コロナの世界が動き始めているなかで、「他者と交流する」「運動をする」「趣味を持つ」「社会に参加する」場などとして、ぜひセンターや、各地区のコミュニティセンターをご利用いただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



ホームページ「まちプラあきた中央」

まちづくり事業を推進しております

まちプラあきた中央

検索



◀ サイト閲覧はこちらのQRコードを携帯電話／スマートフォンのカメラから読み込みいただくか、<https://machipura.xsrv.jp/01/>を検索バーに打ち込んで検索してください。サイトは携帯、スマホ、パソコン等で閲覧できます。



各地域のご紹介

旭南地区

旭南マップ

今回は今まで取材でお世話になった方から聞いたお話とともに、旭南マップを紹介します。

旭南の昔ばなし

旭南地区の東側から南側にかけて、「旭川」が流れています。

船で荷物を運ぶ運河として使われていました。



旧船着き場の標識



安全マップ



旭川

また、参勤交代 (江戸時代) のルートとして、「羽州街道」や「酒田街道」等の街道があります。

全国の城下町に所在する『馬口労町』は旭南地区にあり、人や物の移動が盛んだったことがわかります。

緊急避難マップが目につくところにあることは万一の時のためになりますね。

旭北地区

歴史あふれるすずらん通り

すずらん通りについて掘り下げていきたいと思います。

すずらん通りの名前の由来は？

すずらん通り(旧三丁目小路)は、すずらんをイメージした形の街灯「すずらん灯」が設置されたことから、戦後「すずらん通り」と呼ばれるようになりました。

すずらん通りの歴史

大正末期、「関西建築界の父」と呼ばれる日本の建築家の武田五一さんが京都の商店街にすずらん灯を設置したことから、すずらん灯が人気になり全国の商店街に広がりました。

旭北地区のすずらん通りは1929年の秋田魁新報にも取り上げられており、なんと100年近く前からこの商店街にはすずらん型の街灯が設置されていました。しかし残念ながら老朽化などの理由で、すずらん灯はすでに撤去されており、現在はLED灯に変更されています。

すずらん通りの現在

休日の夕方に実際に訪れたのですが、商店街はとても賑わっていて、お客さんが並んでいるお店も複数ありました。

【住所】〒010-0921 秋田市大町4丁目地内



茨島・卸町地区

認知症の予防と対応について

昨年12月6日に、茨島・卸町、旭南、川尻、川元地域の包括圏域きずな会では、秋田大学高齢者医療先端研究センターセンター長・太田秀隆教授をむかえ、「認知症の予防とその対応について」お話をいただきました。

認知症の現状

現在、4人に1人の65歳以上の高齢者が認知症であると言われていす。ここでは、「認知症」の症状や種類について紹介していこうと思います。

「認知症」は病名ではなく状態のことを指します。様々な原因によって認知機能が低下して生活に支障がでている状態を「認知症」と定義しています。認知症は決して治らないものではなく、周りの人の対応や環境によって症状が軽くなったり重くなったりするものです。ぜひ、症状を知って支えていきましょう。

認知症の症状は主に2つあり、中核症状として挙げられるのが、「認知機能障害」。もう一つが「行動・心理症状（BPSD）」です。認知機能障害とは、新しいことを記憶にとどめられなくなる記憶障害、居場所や日時が分からなくなる見当識障害、計画を立てたり組織化するなどの判断力の低下などの症状が上げられます。

BPSDとは、不安で気持ちが落ち着かなかったり、抑うつのような状態や不眠や、もの取られ妄想などの症状が上げられます。認知症はこれだけの症状だけではなく、糖尿病や高血圧などの生活習慣も大きく関与してきます。

また、これらの症状が発症しているが日常生活に支障をきたしていない状態を「軽度認知障害（MCI）」と呼びます。MCIの方々は、うつ傾向にならないようにする、下肢の筋力（足の筋肉）の維持、多剤服用（特に一日6種類以上）にならないようにする、日常で楽しいことを見つける、などをすれば認知症へのリスクを減らすことが出来るという研究結果も出ています。

認知症の方々の生活機能維持、BPSDの緩和、家族の介護負担の軽減が目標となっています。認知症の方の意見を理解できないものとして否定するのではなく、自己の決定を尊重してあげ、その人らしくいられるようにケアをしていくことが大切です。また、家族やスタッフの方の精神的負担も取り除けるよう社会全体で支えていくことが必要だと思えます。

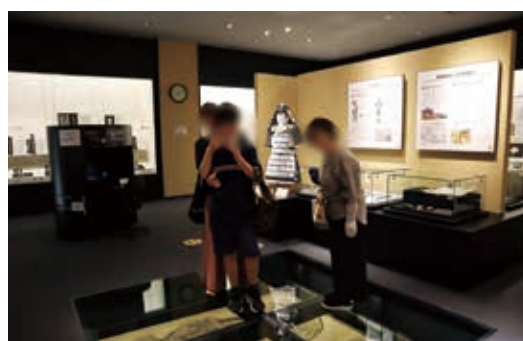


寺内小地区

秋田城

秋田城城跡についてです。みなさんは秋田城を知っていますか？秋田城は奈良時代から平安時代に実在したものです。江戸時代や戦国時代の統治者とはまた違います。秋田城の目玉ポイントと言えば古代城柵があるということですが、発掘によって見つけることのできた城柵の全貌について資料館で見ることが出来ます。また、資料館では古代の生活も学ぶことができます。

そして写真の史跡公園。ここは古代にタイムスリップしたのかな、と思うくらいリアリティがありました。



秋田市立秋田城城跡歴史資料館
〒011-0939 秋田県秋田市寺内大畑5
営業時間 午前9時～午後4時半 定休日 年末年始

資料館の中の様子、兜や秋田城の周りのレプリカもあります。

泉地区

第34回 泉の夏祭り

泉中央公園の泉地区の夏祭りに参加してきました。

「泉の夏まつり」概要

今年で34回目を迎える「泉の夏まつり」

場所：泉中央公園(秋操近隣公園)

日付：前夜祭→7/29、本祭り→7/30

主催：泉学区町内会連合会・泉の夏まつり実行委員会

竿燈、泉太鼓、「よさとせ歌舞輝」、泉おんど、花火などコンテンツが盛り沢山で、地域のお祭りの中では規模が大きいお祭りです。パンフレットもこんなにしっかり作られていて、とってもわかりやすい!!

泉太鼓

泉地区のみなさんから愛されている泉太鼓。こちらも「泉の夏まつり」で披露され、迫力満点です。

高くから振り下ろすバチ。素早く空気を切って面に勢いよく当たって、力強い音が響く。

「泉の空まで響く太鼓の音」

泉太鼓を披露してくれた方が言っていました。伝統ですね。



泉の空に響く音がこれから何年も先の泉の夏まつりでも響いていて、多くの人々の心に届いていくんだ、と考えると「素敵だな」と思うのです。

竿燈

秋田の夏のお祭りといえば「竿燈」ですよね。

竿燈は「泉の夏まつり」でも披露してくれました。

地域のお祭りとしてもものすごく豪華だと思いませんか。今回、演技をしてくれたのは「秋田銀行竿燈会」のみなさん。ドッコイショードッコイショの熱い掛け声、観客の「すごい!」とか「危ないぞ!」というような演者を励ますような声援が印象的でした。演者も観客も一体となる。それが「竿燈」だと見ていて思います。秋田県内の方はもちろんご存じだと思うのですが、県外の方にも是非見ていただきたいです。



八橋地区

秋田ノーザンブレッツRFCの応援へ

11月13日(日)に、八橋のあきぎんスタジアムで秋田ノーザンブレッツRFCの試合があり、観戦しに行ってきました。八橋在住の方とも交流できて、とても良い機会になりました。

秋田ノーザンブレッツRFCとは…

秋田ノーザンブレッツRFC(以下、秋田NB)とは、簡単に言うと、秋田のラグビーチームのことです。

ちなみにこちら、今回のイベントに誘っていただいた八橋包括センターのともこさんの応援ユニフォームの後ろ姿です。

秋田NBカラーの真っ赤なユニフォームにONE HEARTの文字が素敵です。

八橋在住の65歳以上の方にはなんと特典が!

八橋在住の65歳以上の方には、ラグビー観戦チケットとカロリーメイトリキッド、そしてなんとなんと!選手の方と一緒に体操できるという豪華な特典が…!



これは実際に体操をしている様子です。お家でもできる簡単な体操を教えてくださいました。

この後は選手の皆さんとスタジアムの周りをおしゃべりしながら、ぐるりと一周ウォーキングしました。

ちなみにみなさんお気づきですか…みなさん秋田NBカラーの赤色を身体のどこかに身に着けていらっしゃいます!みんなで赤色をまとして応援するぞ。

試合開始

人生で初めてラグビーの試合をこの目で、この肌で、感じましたが、ルールをあまり知らない私でもその凄さに圧倒されました。自然に何回声がもれたことか…同じ人間なのにあんなにタックルしても、されても壊れない強さとその強さを身につけるまでの努力を想像すると感動の嵐でした。

結果は、相手チームに1点差で負けてしまいましたが、最後の最後まで諦めずにやり抜いた秋田NBの皆さんに拍手喝采でした。

ラグビーはみんなが平等に活躍できる!と選手の方がおっしゃっていましたが、本当に秋田NBのONE HEARTを実感できました。



中通・東通地区

地域の人から愛される毎年恒例行事！ ～第37回 コミセン祭り～

榎山地区コミュニティセンターで行われた第37回コミセン祭りを取材しましたのでそちらをレポートしたいと思います。

こちらは40年近く地元の方々が続けてこられた、地域を代表する大切なイベントになっています。



コミセン祭りとは？

昨年・一昨年は新型コロナウイルス感染防止のため開催できませんでしたが、それまで休むことなく行われてきた地域のイベントで、主に榎山地区コミュニティセンターで活動する団体の活動を一般の方にも公開する年に一度の行事になっています。

歌やダンスの芸能発表だけでなく、書道、いけばな、ステンドグラス、陶芸作品、絵手紙などの様々な数十の団体がそれぞれの作品・成果物を発表しており、どれも素晴らしいフオリティーで、思わず販売しているのかなと思ったほどです。

中には30年以上続けて芸を極めている方もおり、どれだけこのコミセンが地域の方々に愛されてきたのかを実感することができました。

芸能発表会

芸能発表では、地域に古くから根付いた民謡・民舞からオリジナルダンス・歌の披露まで、様々な団体がそれぞれの歌やダンスを発表しており、今回は6団体17演目が披露されました。

築山地区

築山の深い歴史について

築山について、榎山コミセンにて佐々木さんに取材させていただきました。

みなさん築山地区ってどこからどこまでか知っていますか？大雑把にいうと北が南通亀の町の手前まで、西が丁度イオン中央店の手前、東に行くと一つ森公園の駐車場、南に行くと城南中学校前のバス停の通りまでが築山地区です。

●自然

学区が旧町名地番や、旧通路などによって構成されたこともあって、現在の住居表示の町名地番での区画では入り組んだものになっているようです。これも築山学区の歴史の長さを物語っているようですよね。地形的には全体的に土地が低く、昔はよく水害に悩まされていたとか。地質的には秋田市そのものが雄物川沖積平野で、沖積平野の特徴は、砂利層の多いことだそうです。このことは、現在の築山小学校の体育館を作るときのボーリング検査の結果でも現れていたそうです。

●暮らしの様子

築山地区は『住居地域』になっていて今も昔も変わらないようです。今は高齢者の方が多いよう



で、高齢者の方向けのイベントが催されていたりします。また、お店は自家営業が多いようです。実際に築山地区に行き、田畑は少ない感じがしましたが、農地や田畑はだんだん宅地化されていったようで、昔はもう少し農家さんもいらっやったようです。高層ビルや大きな商業施設などは見受けられなかったので住民の方同士仲が良く穏やかなイメージでした。

●地区の歴史

この築山地区は、昔は沼などの多い芦の茂った低湿地帯でしたが、1673年に3年がかりで富士山の土で埋め立てて屋敷割をし、武士や徒士たちの住居地になったそうです。地区内には旧藩政時代の主要道路が多く、たとえば登町、入川橋通登町、牛島橋通りなどもその一つだったようです。

川尻地区

川尻で史跡巡りしてみない？

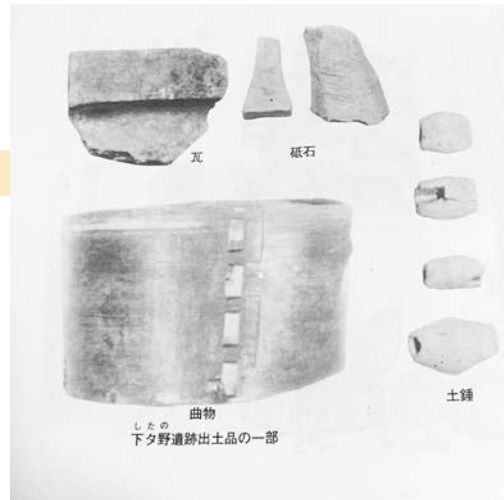
川尻地区にはいくつか史跡があるのをご存じですか？今日はそのうちの一つを紹介していきたいと思います。

下夕野遺蹟（遺跡）

この遺跡は昭和52年、秋田市川尻大川町、下夕野児童公園付近で、山王大日地区画整理事業実施中に発見されたものです。

これは平安時代から鎌倉時代までの集落跡と推定され、堀立柱建物、四十一棟、井戸跡五十一基、排水溝などのほか、土器、土石器、木製品、石製品などの遺物が発見されたようです。

これ以外にも、鍋小山、玉宮神社、箱岡稻荷神社もあります。



保戸野地区

通町に福を招く！狐の行列

10月8日金曜日に通町商店街で開催された「招福狐の行列」を紹介します。

狐の行列ってなに？

通町の狐の行列は2002年に始まり、今年で21回目を迎えました。コロナ禍以前はフェイスペイントやお面で狐に変装した人々約100名が商店街を練り歩くという行事でした。当時は地域の方々だけでなく留学生も参加していたほか、秋田公立美術大学の学生がメイクを担当していたそうです。今年は3年ぶりの開催で、仮装は神狐様だけだったのですが、行列に参加する方はお面と法被、狐のマスクを身に付けておられました。



狐の法被

大福や稲穂は神事のときに神棚に上げてお祈りされ、沿道の人たちに福を授けるという意味で渡されます。この稲穂は地域の方々が手で刈って用意されたものだそうです。

商店街にはたくさんの方々が詰め寄っており、にぎわっていました。



神狐様からのスぺシャルライブ

私も稲穂と大福をひとつずついただきました。

通町を一周して神社に戻ってきたあと、神狐様がなんと通町商店街をアピールするオリジナルソングを披露してくださいました。

狐の行列Story

狐の行列は、神狐様の神事から始まります。

この行事は、関東の稲荷神社の総本家である東京の王子稲荷で毎年大みそかに行われる狐の行列を元としています。通町は昔の羽州街道にあたり、狐たちが羽州街道を回って王子稲荷の榎の木の下に向かうという設定でこの行事は行われるそうです。昔、旅をするのは命がけであったため、神事でも旅の安全が祈願されています。

通町に福を授けます！

神事が終わると、いよいよ行列です！大福配りの女の子たちに続いて、神狐様が本堂から出てこられました。

行列は、神狐様が先頭でその後ろに縁起物の大福を配る人たちが、続いて稲穂を配る人たち、その後ろに太鼓や笛が続いていました。



第5回センタースマツリ開催

センタースマツリは昨年11月5日（土）～6日（日）に3年ぶりに新型コロナの感染対策を施して開催することが出来ました。

入場者を通常定員の半数に制限して、わらび座の「和ライブ」と秋田シティブラスバンドの特別公演の他、サークルの参加数は例年の半数でしたが、86サークルの中から12サークルのステージ発表、11サークルの作品展示、そして26サークルからは会場スタッフとして参加して頂きました。



特別公演
わらび座「和ライブ」



特別公演／秋田シティブラスバンド



コーラス（コール虹）



大正琴「心の音会」



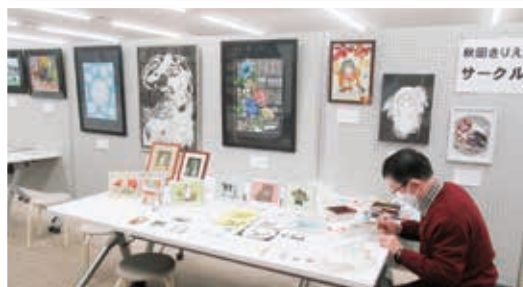
フラダンス
（ミノアカレディース）



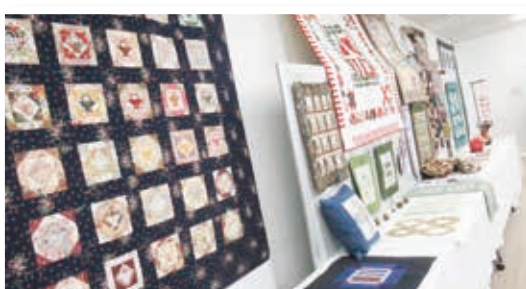
秋田相撲甚句会



ダンスパーティー



作品作りの実演
（秋田きりえサークル）



パッチワーク
（こっとなぼうる）



盆栽（みどり愛好会）

地域のまちづくり活動に **地域づくり交付金** を活用してみませんか？

地域づくり交付金は、町内会や地区振興会などの地域に密着した活動を行う団体が行う、地域の課題解決や地域力の向上などの公益的な活動を資金面で支援する制度です。

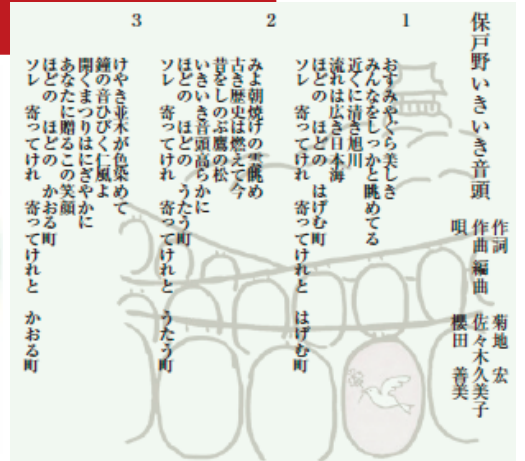
中央地域づくり協議会では、審査員を推薦、選出しているほか、審査等を通じて**中央地域**の申請事業に対する評価や助言などを行っています。

令和4年度は、以下の三つの事業の審査および評価を行い、秋田市が交付決定しています。

事業名 **広げよう「保戸野いきいき音頭」づくりで地域活性化事業** 団体名 **「保戸野いきいき音頭」づくり実行委員会**

「保戸野地区にシンボルとなる歌や踊りがなかったため、ゼロから新しく作ろう」と考えた住民によって企画された事業。歌詞は公募を行って寄せられた中から採用し、作曲作業は専門家に依頼。

今後、完成したCDは地元を中心に配布。振付も考えていく予定で、地域住民が地域の行事などで歌って踊ることができるよう、広く普及させていく計画です。



事業名 **地域と住民を繋ぐ「情報プラットフォーム事業」** 団体名 **中央地域まちづくりプラットフォーム**

「まちプラあきた中央」のホームページの活用により「情報プラットフォーム」構築を目指す事業です。市内の大学生が、秋田市中心部地域の10地区を取材し、記事を作成。お店や施設の紹介のほか、地域に密着した様々な団体、行事などの活動も掲載。

通称「まちプラ」を通じた情報の収集と発信の活動は、地域にとって、これまでなかった新たな情報共有の機会を創出しており、地域活動の参加者および担い手の不足等、様々な課題に対して、効果的な方策の確立を目指して、取り組んでいます。



事業名 **「情報通信技術を活用した地域づくり」推進事業** 団体名 **防災まちづくり連合協議会**

今の時代に、誰もが身につけておくべき情報通信技術の日常生活レベルのスキルや実践方法について、様々な企画に住民が参加して学ぶ事業。これまで、スマートフォン・タブレット教室、水害防災研修、防災セミナー、火災予防講演を開催。複数の地区が合同で参加できるよう、リモート会議形式を採用。

リモート（遠隔）対応によって、どこからでも参加できるよう、使用機材を整備した。

旭南、茨島、大住地区の町内会と連携して行っており、リモート対応により、複数会場で開催できる体制を作りました。また、他地区の住民の方にも本事業をオンラインで見学してもらうことができました。



秋田市の地域づくり交付金の担当から

「秋田市地域づくり交付金」の対象となる事業は、地域で行う美化活動や自主防災のようなまちづくり活動のほか、以下のような公益的な事業です。

- ・子ども見守り活動、防犯、交通安全 ・通学路や高齢者世帯の除雪活動
- ・夏まつり、雪まつり、文化祭等の地域交流イベント ・健康づくり教室
- ・案内板、歌などの作成 ・郷土史等作成 ・地域の情報を発信、共有する事業
- ・地域で受け継がれてきた行事を普及、継承する事業 など

中央市民サービスセンターでは、初めて事業に取り組む団体等からの相談に随時応じています。
また、参考となる地域活動やまちづくり活動の事例もご紹介しているほか、実際に参加できたり、見学が可能な活動もご案内しています。

秋田市 市民生活部 中央市民サービスセンター
地域支援担当（市役所庁舎2階） Tel 018-888-5643



令和5年度の申請受付期間は 4月17日(月)～5月15日(月)(予定)です

センタース施設ご利用案内

文化活動やスポーツ、住民自治活動など、幅広くご利用できます。
ご利用の希望する日の前月1日から予約をお受けいたします。

令和4年 センタース利用状況（令和4年1月～令和4年12月）

利用団体数 7,173団体 利用者数 64,040人

■開館時間

9：00～21：00（年末・年始を除く）

■ご利用申し込みは

中央地域づくり協議会 TEL 018-888-5644

電話や窓口での申し込み、または秋田市公共施設案内・予約システムからも申し込みできます。（予約システムからの申し込みは窓口での登録が必要です。）



施設利用窓口

◎ご利用方法

センタースのご利用につきましては新型コロナウイルス感染症予防として次の点をお守り願います。

- 1 隣の席との対人距離を最低1メートル以上でご利用願います。
- 2 対人距離をとることが難しい場合は、ご利用人数を減らしていただきます。
- 3 マスクの着用
- 4 消毒手洗い
- 5 室内の換気（窓のある部屋は窓の開放、窓がない部屋はドアの開放）
- 6 飲食の場合はマスク会食をお願いします。（多目的ホールでは、水分補給以外の飲食はお断り致します。）
- 7 大声を出す行為はご遠慮願います。
- 8 スポーツ関係では、プレー者以外はマスクの着用をお願いします。
- 9 つばの出る音楽関係は、使用後に床の消毒をお願いします。

中央地域づくり協議会とは

秋田市役所内にある中央市民サービスセンター（愛称 センタース）施設の運営・管理を市から指定管理者として委託されております。秋田市の中央地域における住民自治の担い手となり、住民相互の交流をはかりつつ、地域の諸課題の解決に取り組み、住みよい地域づくりを推進することを目的として、中央地域の（中通・東通）、（築山）、（保戸野）、（旭北）、（旭南）、（川尻）、（茨島・卸町）、（泉）、（八橋）、（寺内小学区）の10地域の町内会連合会や、社会福祉、ご利用者、スポーツおよび子育て関係団体等の代表者が理事として構成されております。平成27年8月28日に設立され、平成28年5月6日にセンタースが生涯学習機能等を備えた新組織として活動が開始されました。

中央地域づくり協議会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号（市役所3階）
TEL 888-5644 FAX 888-5645
ホームページ <http://centers.ec-net.jp/>

